

1 施設概要

施設名	高知市弥右衛門ふれあいセンター		施設所管課	地域コミュニティ推進課	
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団				
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 10 年 3 月 31 日		公募・指名の別	公募	
設置目的	市民の文化、芸術及びスポーツの復興に寄与するとともに、コミュニティの場を提供するため				
業務内容	1. 施設及び設備の利用に関すること。 2. 施設及び設備の維持管理に関すること。 3. センター事業の運営に関すること。 4. 管理運営のための体制の整備に関すること。 5. 利用料金に関すること。				
施設内容	集会室(体育施設)、和室、調理室、談話室				
職員体制	常勤職員	2人	非常勤職員		合計
	パート職員	4人	アルバイト		
			契約社員		6人
			その他		

2 目標値と達成状況(指定管理者記入欄)

指標	令和 5 年度 (1 年目)		令和 6 年度 (2 年目)		令和 7 年度 (3 年目)		令和 8 年度 (4 年目)		令和 9 年度 (5 年目)	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
利用料金収入(千円)	5,600	5,957	6,600	6,176						
利用者数(人)	30,000	22,522	30,000	27,396						
稼働率(パーセント)	52%	48.4%	52%	53.5%						
収入目標額(千円)	5,780	6,045	5,672	6,274						
目標値に対する達成状況について	<p>利用料金収入アップを最優先事項と考へ、当施設のフェンスに設置した告知POPを更新し、新規利用者の開拓に努め、更に水曜・祝祭日の休所日の特別貸館を市の担当部署の承諾をいただいて実施した。その結果、利用料金収入は平成9年に開所してからの27年間で最高額となり、収支も改善された事は日頃のきめ細かな活動が評価されたのではないかと喜んでいる。しかし、利用者数はコロナ禍前に近づいてはいるものの利用団体の高齢化や規模縮小で利用料金に見合う伸びが得られず今後の課題と考えている。</p> <p>施設の貸館利用促進のために、施設のフェンスに告知POPを継続して設置した。(3年継続)さらに施設の活用事例の紹介チラシを作成し、利用相談者等に配布し周知を徹底した。この効果もあり、利用料金では昨年を上回り、過去最高額の実績を上げ、利用者・利用件数においてもコロナ禍以前の実績を上回ることができ、概ね目標を達成できたと考えている。</p>									

3 利用状況(指定管理者記入欄)

	令和 5 年度 (1 年目)	令和 6 年度 (2 年目)	令和 7 年度 (3 年目)	令和 8 年度 (4 年目)	令和 9 年度 (5 年目)
利用者数	22,522 人	27,396 人	人	人	人
利用者数: 対前年度比	108.2 %	121.6 %	0.0 %	- %	- %
開館日数	303 日	291 日	日	日	日
集会室 午前	64.8 %	67.4 %	%	%	%
集会室 午後	83.5 %	85.6 %	%	%	%
集会室 夜間	70.3 %	80.4 %	%	%	%
和室 午前	40.9 %	44.2 %	%	%	%
和室 午後	51.3 %	50.4 %	%	%	%
和室 夜間	47.9 %	46.0 %	%	%	%
調理室 午前	14.1 %	18.8 %	%	%	%
調理室 午後	16.5 %	20.5 %	%	%	%
調理室 夜間	8.2 %	8.4 %	%	%	%
利用状況についての評価	<p>施設の稼働率はコロナ禍直前の状況まで回復してきており、施設フェンスの告知POP更新などの効果で、家族・友人単位の小規模利用から、新たな団体の継続的な利用や問い合わせも増えたためこの好結果となったと考えている。そして今後も継続して同様の活動で、利用者が純増することを期待している。補足だが、当施設では、稼働率は1時間単位で積算し昼食1時間の稼働を不算入しているため1日を3分割して計算している施設に比べると低めの稼働率になってしまう事をご理解いただきたい。</p> <p>集会室においては、もともと高い稼働率で推移しているが、地域住民に認知が広まってきていることもあり、家族や友人等も少人数・短時間利用が増加したことにより更に稼働率がアップした。和室では課題であった午前中の稼働が、新たな団体の活動により増加傾向にある。また調理室は、「味噌作り」や調理と食事のセットでの利用が増え稼働を伸ばしてきたのが注目できる。</p>				

※ R5年度実績 利用者数: 22,522人、開館日数: 303日

4 収支状況(指定管理者記入欄)

単位:千円

	令和5年度 (1年目)		令和6年度 (2年目)		令和7年度 (3年目)		令和8年度 (4年目)		令和9年度 (5年目)	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
指定管理料		9,030	8,390	8,390	8,615					
利用料金収入		5,957	6,600	6,176	6,600					
自主事業収入		13	12	17	12					
その他収入		75	60	81	60					
収入計	0	15,075	15,062	14,664	15,287	0	0	0	0	0
人件費		8,561	8,657	8,897	9,175					
光熱水費		1,818	1,956	1,988	1,956					
保険料		52	5	2	5					
委託料		1,228	1,100	1,094	1,100					
修繕費		98	150	56	150					
事業費		17	120	31	120					
消費税及び地方消費税		854	857	858	956					
その他の公課費										
事業所税										
その他		2,463	2,217	2,057	1,825					
支出計	0	15,091	15,062	14,983	15,287	0	0	0	0	0
差引収支 (収入計-支出計)	0	▲16	0	▲319	0	0	0	0	0	0

5 運営状況分析指標(指定管理者記入欄)

	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
① 利用料金比率	39.5 %	42.1 %	- %	- %	- %
② 指定管理料比率	59.9 %	57.2 %	- %	- %	- %
③ 人件費比率	56.7 %	59.4 %	- %	- %	- %
④ 利用者1人当たりの管理コスト	670 円	547 円	- 円	- 円	- 円
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	401 円	306 円	- 円	- 円	- 円
⑥ 外部委託費比率	8.1 %	7.5 %	%	%	%

※【運営状況分析指標の考え方】

① 利用料金比率	収入の総額に対して利用料金収入の占める割合を表す。
② 指定管理料比率	収入の総額に対して指定管理料の占める割合を表す。
③ 人件費比率	支出の総額に対して人件費の占める割合を表す。
④ 利用者1人当たりの管理コスト	支出の総額を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	指定管理料を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑥ 外部委託費比率	支出の総額に対して外部委託費の占める割合を表す。

6 利用者の満足度調査等(指定管理者記入欄)

	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
① 調査方法	全利用者向けアンケートを実施	全利用者向けアンケートを実施			
② 調査期間	2023/10/30~2023/12/10	2024/11/1~2024/12/10			
③ 配布数	468 枚	601 枚	枚	枚	枚
④ 回収数	379 枚	478 枚	枚	枚	枚
⑤ 回収率	81.0 %	79.5 %	- %	- %	- %
調査結果	<p>幅広い利用者の声を聴きとるために昨年度から全利用者を対象に実施しています。(重複利用者の回答は1回のみ)配布数・回収数・回収率とも昨年を上回る結果となり職員全員で取り組んだ成果だと自負している。回答者の構成: [性別]男27.0%・女73.0% [年齢]66歳~32.8%・50~65歳32.1%・30~49歳24.2%・18~29歳7.1%・10~17歳3.8% [所属]個人19.8%・団体80.2%[職員対応]満足92.8%・不満0.3%[施設・設備]満足89.9%・不満1.6%[料金]満足74.4%・不満4.3%[清掃]満足94.9%・不満0.8%[全体]満足94.7%・不満0.5%</p> <p>今回も幅広く利用者の声を拾うために期間中の全利用者を対象にアンケート用紙を配布した。また、アンケートの評価内容については前回とほぼ同じに「職員の対応」「施設設備」「利用料金」「清掃」「更衣室トイレの状態」「総合評価」の項目で評価の推移が年度ごと明確であることになった。評価内容においては「職員の対応」で最高の評価が継続して過半数を占めていることを嬉しく思います。回答者の構成:[性別]男30.3%・女69.7%[年齢]65歳~30.3%・50~65歳31.1%・30~49歳26.9%・18~29歳6.9%・10~17歳4.9%[所属]個人17.9%・団体82.1%[職員対応]満足94.9%・不満0.4%[施設・設備]満足91.4%・不満1.7%[料金]満足79.2%・不満5.3%[清掃]満足96.5%・不満0.7%[更衣室トイレ]満足88.4%・不満2.4%[全体]満足97.9%・不満0.0%</p>				

7 利用者からの苦情・意見等及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

日付	苦情・意見等	対応状況
6月1日	コロナが終わりになって、夏に向けて暑々しい今日この頃、冷水を置いていただきたいと思います。	コロナ禍の感染対策により冷水器を撤去している。再設置も検討したが、旧式の機器で衛生管理上の問題があると判断し設置は見送ることにした。
12月	トイレが新しくきているけどカバンカケがないです。ひくめにおねがいします。	施工業者に確認したが、施工指示内容に含まれていないとの回答であったため指定管理者側で設置を予定している。(当初の選定部材では、フックがやや高い位置となるため、低い位置での壁の強度の確認と部材を検討中)
アンケート	集会室の照明が暗い(11件)	年末工事予定の照明のLED化により明るくなることを説明しました。
アンケート	集会室のカーテンが薄くなって光が入ってくる。カーテンが汚れている。(2件)	遮光カーテンの更新はかねてから市に対して要望していることを説明し、まだ使用可能であることも伝えた。
アンケート	集会室にエアコンをつけてほしい。(3件)	エントランスホールに休憩スペースを設けているので、そこで涼んでほしいと説明しました。
アンケート	女性トイレの洋式便器を増やしてほしい。(24件)	トイレの洋式化工事を年末に予定していることを伝えた。
アンケート	ソフトバレーボールのアンテナが1セットしかない	利用者の要望を聞き、すぐにアンテナを追加補充しました。
アンケート	卓球台ずいぶん古い台が5台くらいある。いいかげんに更新してもらいたい	まだ使用できると判断しているが、開館当初からの物だと思っているので、要望として市に伝えておくこと説明しました。
アンケート	駐車場がもっと広ければ良い。(4件)	混雑するときには職員が車の誘導案内をして駐車場の円滑な利用を推進しています。

8 評価シート(自己評価・一次評価・総合評価)

(1) 業務の履行状況の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務 評価委員会
1 開館時間等	条例に基づき、開館時間・休館日は遵守されているか	3	3	3.0
2 法令等遵守	地方自治法、施設に係る条例その他関係法令等は遵守されているか	3	3	3.0
3 職員配置	適切な人員配置がされたか	3	3	3.0
4 職員研修	管理運営のために必要な研修等が適切に行われたか	3	3	3.0
5 使用許可業務	条例に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われたか	3	3	3.0
6 施設の平等利用の確保	施設利用申請等に対する平等の確保策はとられているか	3	3	2.8
7 利用料金(使用料)	利用料金の設定、徴収・減免・還付等の手続は適切に行われているか	3	3	3.0
8 保守点検業務・警備業務	保守点検業務・警備業務は適切に行われたか	3	3	3.0
9 清掃・維持管理業務	清掃、維持管理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
10 廃棄物処理業務	廃棄物処理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
11 修繕業務	修繕業務は適切に行われたか	3	3	3.0
12 事業の実施状況	条例、事業計画書等に基づき、事業を実施しているか	3	3	3.0
13 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準か	3	3	3.0
14 利用促進の取組	利用者増加のための対策は適切に行われたか	3	3	3.0
15 施設賠償責任保険の加入	施設賠償責任保険に加入しているか	3	3	3.0
16 利用者の安全確保対策	事故時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
17 緊急時対応	緊急時・防災時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
18 個人情報保護に関すること	個人情報保護に関する対策は適切か	3	3	3.0
19 情報公開に関すること	情報公開に関する対応は適切か	3	3	3.0
20 備品購入・管理の状況	備品の購入手続・管理体制は適切に行われたか	3	3	3.0
配点60点(20項目×3点)		小計	60	59.8

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(2) サービスの質の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務 評価委員会
1 利用者ニーズの把握	利用者ニーズを把握するとともに、利用者ニーズを事業の計画及び実施に反映できているか	5	5	3.3
2 接客態度・苦情要望等への対応	接客態度、苦情・要望等への対応等は適切か	5	4	3.2
3 施設内の案内表示	施設内の案内表示は見やすくなっているか	5	4	3.3
4 利用案内	施設情報・事業実施情報等は容易に入手できるようになっているか パンフレット・利用案内等は分かりやすくなっているか	5	5	4.0
5 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適切か	5	5	3.3
6 施設運営業務	実施された事業内容は適切に行われているか	5	4	3.2
7 事業の実施状況	事業は効果的に行われたか	5	5	3.3
8 自主事業の実施状況	施設目的に沿った自主事業が実施されたか	4	4	3.3
9 目標達成度	施設目的・課題に沿った目標を設定し、目標達成に向けた取組はなされたか	5	4	3.2
配点45点(9項目×5点)		小計	44	30.1

評価基準

点数	小項目の評価基準
5	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、非常に優れていると認められる。
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善や目標の見直しが必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(3) サービス提供の継続性と安定性

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価	
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会	
1 経費節減・効率的な運営	経費節減及び効率的な管理運営のための工夫が見られるか	3	3	3.0	
2 事業収支	事業収支は妥当か	3	3	2.8	
3 経営状況	指定管理者の経営状況は妥当か	3	3	3.0	
4 人件費比率	支出に占める人件費の割合は妥当か	3	3	3.0	
5 外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合は妥当か	3	3	3.0	
配点15点(5項目×3点)		小計	15	15	14.8

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づき経営がなされている。
2	概ね事業計画・収支計画等に基づき経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づき経営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。
0	事業計画・収支計画等に基づき経営が全くなされておらず、抜本的に業務の全面的な見直しが必要である。

9 自己評価・一次評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	自己評価 (指定管理者)	配点に対する割合	一次評価 (施設所管課)	配点に対する割合
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60 点	100 %	60 点	100 %
(2) サービスの質の確認	45 点	44 点	98 %	40 点	89 %
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15 点	100 %	15 点	100 %
合計	120 点	119 点	99 %	115 点	96 %

(2) 自己評価(指定管理者評価)の内容

年度	評価内容
5	指定管理者として2クール目を迎え、過去の経験を活かし職員全員で意見交換をしながら活動方針を固めました。[収支]利用料収入の増加のため施設フェンスでの告知POPは更新しながら継続し、休所日の特別貸館にも取り組み過去最高の利用料収入を上げることができ、かつ収支も納得のい改善が出来たことを嬉しく思います。経費削減では、突発的な修繕事業により2件で20万円ほどの費用が発生しましたが、集会所の床のゆるみや机・照明器具・体育設備の不具合の自前で修繕により老朽化した施設の維持管理が[まほ材料代のみで出来たことも評価できるものと考えています。[運営]職員同士で密な情報共有を行い、OJTによる接客対応での聴き取り能力の向上を図る事が出来ました。その効果により、予約相談に対する対応力が高まり、新規利用の獲得や利用空白時間帯の解消が進み好実績に貢献できたと考えます。また、職員の発案で玄関口の当日利用状況の掲示板の書き換えにマグネットシートを使い、分かりやすさと省力化が図られました。[文化情報発信と地域交流]エントランスを活用して市民の作品展を継続で実施しており、その作品を楽しむために来館する人も以前よりも増えたように感じます。(来館人数にはカウントされないのが残念です)また、地域の多世代交流を願って実施した2回の多世代交流フェスは、夏は悪天候による順延で十分な成果は得られませんでした。冬イベントでは予想を大幅に上回る約400名の地域住民の方々においていただき、今後に繋がる大きな実績を残せたと考えます。[危機管理]日頃の運営上の基本ルールや法令遵守についての研修はもちろん、救命講習や消防消火訓練などを通して施設運営に関わる危機管理を強めることが出来ました。
6	指定管理者として7年目を迎え、今までに実施してきた成功事例は踏襲し、さらにふれあいセンターとしての質を高めるために施設設置時の理念を再確認し、行動に移す年にしたいと考えて運営してきました。[市民の文化、芸術及びスポーツの振興に寄与する]施設の利用件数は施設竣工時からの実績では、集会所と調理室が過去最高、和室も歴代3位となり合計利用件数でも過去最高の3046件(28年間の平均2394件)となったことから、この目的は大きく達成できたと考えています。これに伴い、利用料収入も過去最高金額を達成することができ、収支の改善に貢献したと自負しています。[コミュニティの場を提供]①エントランスのスペースを活用し継続的に文化、芸術の発表の場としました。②地域防災団体主催の防災講演会と防災イベント開催を支援するために休所日の開催を提案し数多くの地域住民が参加できました。③市民団体からの様々な利用相談に柔軟に対応するために職員の聴き取り能力をOJTにより高め、必要とあれば休所日の利用も実施しました。④年一回主催のイベント「やえもんカフェ」では過去最高数の団体に協力をいただき来場者約430名(新記録)を達成できました。さらに地域防災会も防災コーナーを設置していただき地域との協働のきっかけ作りが出来ました。[指定管理者としての事業]管理者自身が施設利用して収入増を図ることは可能ではありますが、他の利用希望者の活動の妨げとなる恐れがあるため、施設設置目的の基本を重視しさらに活性化することに専念してきました。その結果を業務評価として申告することに満足しています。ただ唯一の反省点は収支の黒字化が出来なかったことです。しかし利用料収入は増加していますので、人件費や消耗品等の経費を大幅に削減すれば黒字化の達成は可能であったと考えていますが、施設の質を高いレベルで維持し、働く職員(市民)の待遇改善も必須項目と考え、さらに諸物価高騰のマイナス要因も考慮するとこの収支で十分に納得しています。そしてこの方針は今後も継続し、さらに収支改善努力も続けていきたいと考えています。
7	
8	
9	

(3) 一次評価(施設所管課評価)の内容

年度	評価内容
5	仕様書・事業計画書に沿って適正に管理運営がなされている。 アンケートの対象者を全利用者に拡大するとともに、質問項目についても利用者数及び満足度向上に向けた取組につなげるための内容に見直し、日々の管理運営や自主事業に反映できたと考える。 また、人口減少や地域活動団体の高齢化が進行している状況のなか、家族連れや学生等の新規利用者を呼び込んだ結果、利用料収入が平成9年に開所してから27年間で過去最高額を達している。自主事業についても、「やえもん多世代交流カフェ」では、前年度実績(130名)を超える来場者数(400名)を集めることができたことは、施設利用者に対して、質の高いサービスを提供することができていると考える。
6	昨年に引き続き、施設の運営については堅実になされている。利用料金収入は目標値を424千円下回ったものの、開所してから28年間で過去最高額となった。昨年度からの改善点である利用者からのニーズを聞き取るという点については、期間を設けて利用者アンケートを実施しており、指定管理者が利用者からの要望を受け取り、改善につなげていることが見受けられたため、評価すべきところと考える。 自主事業についても、「やえもん多世代交流カフェ」では、前年度実績(400名)を超える来場者数(430名)を集めることができ、他団体との交流を持つことで、今後の自主事業への展望の持てる活動になったと考える。
7	
8	
9	

10 総合評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	評価 (指定管理者業務評価委員会) 合計	配点に対する割合	評価
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	59.8 点	100 %	A
(2) サービスの質の確認	45 点	30.1 点	67 %	
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	14.8 点	99 %	
合計	120 点	104.7 点	87 %	

評価基準

区分	S	A	B	C
評価基準	評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、全ての小項目で3点以上の評価であるもの	・評価点数の合計値が配点合計点数の65%以上85%未満 ・評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、小項目で3点未満の評価があるもの	評価点数の合計値が配点合計点数の45%以上65%未満	評価点数の合計値が配点合計点数の45%未満
評価内容	・事業計画書・仕様書を上回る取組がなされ、非常に優れた実績をあげている。 ・適正に管理運営が行われており、またはそれ以上の取組がなされ、優れた実績をあげている。	事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われている。	概ね事業計画書・仕様書に沿った適正に管理運営が行われているが、管理運営の一部に改善を要する。	事業計画書・仕様書に沿った管理運営が行われていない事項があり、管理運営の大部分において改善を要する。

(2) 総評

<p>事業計画書・仕様書に沿った適正な管理運営がなされています。 利用者数が目標値未達成となりましたが、利用料金収入及び収入目標値は目標値を達成できており、特に利用料金収入が過去最高額となったことは評価できます。 支出が収入を上回っていますので、収支の改善に努めてください。 アンケートの実施や意見箱の設置など、利用者ニーズの把握に努められていますが、今後も多様な方法での利用者ニーズの把握に努め、更なる利用拡大に努めてください。</p>

(3) 総合評価実績

年度	評価結果	総合評価点数	総 評
5	A	108.2 点	事業計画書・仕様書に沿った適正な管理運営がなされています。利用者数等が目標値未達成となりましたが、利用料金収入及び収入目標額は目標値を達成できています。施設を利用した全団体にアンケートを配布し、回答者に抽選で施設で制作した細工物をプレゼントするなど、アンケート回収率の向上に向けた取組が評価できます。指定管理者自らが可能な範囲で修繕を行うなど経費節減に努めていますが、支出が収入を上回っています。引き続き、利用者ニーズの把握に努め、利用拡大、収支の改善に努めてください。
6	A	104.7 点	事業計画書・仕様書に沿った適正な管理運営がなされています。利用者数が目標値未達成となりましたが、利用料金収入及び収入目標額は目標値を達成できており、特に利用料金収入が過去最高額となったことは評価できます。支出が収入を上回っていますので、収支の改善に努めてください。アンケートの実施や意見箱の設置など、利用者ニーズの把握に努められていますが、今後も多様な方法での利用者ニーズの把握に努め、更なる利用拡大に努めてください。
7		点	
8		点	
9		点	

11 指定管理業務における課題・改善事項及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

課題・改善事項	改善時期	改善に向けた対応
高齢者利用者への対応改善	2024年4月	和室利用をさらに快適にするために、イグサゴザ8畳用を2枚追加購入し、畳表を傷めず和室全面でテーブル・椅子の使用を可能にした。
集会室用具倉庫の整理整頓	2024年5月	用具倉庫の小物備品の整理と管理の簡素化のために競技種目別にコンテナボックスを購入してに収納した。
利用者の意見の聴き取りとその評価方法の改善	2024年11月	2022年度からアンケート期間中の利用者全員を対象として幅広く意見の収集を推進してきた。さらに昨年度(2023年度)からはアンケートの設問内容を見直した。その変更内容は①利用者の実態の把握②職員・施設に対する評価の2つの重要な項目に絞ることとした。更に設問の文面は答えを誘導するような内容は避け利用者の声をできるだけ正確に収集できるようにした。2024年度は前年度とほぼ同じ設問で実施し、利用者の評価について時系列(年単位)で変化(傾向)を読み取れるようにし、施設運営の判断指標とすることとした。
老朽化した施設・備品の管理	9～3月	修繕費用削減のため故障・修理箇所の事前調査により部品交換と最少額の工料で修繕①9月 バドミントン用ボールの金具4個交換②1月 卓球台の脚のプラスチック保護カバー装着(脚による壁面傷防止)③1月 庭園灯プログラムタイマー交換④3月 集会室照明リレースイッチ交換⑤3月 女性用トイレ暖房便座節電の為にプログラムコンセントタイマーを新規導入
多世代交流拠点としての拡充	2023年度から強化	休所日の特別貸館を継続的に実施し、地域団体の活動拠点としての利便性向上に努めた。(自主事業報告参照)
利用者の拡大	2023年度から強化	①施設のフェンス北面に貸館告知POPを継続して掲示②2024年度から施設活用事例紹介チラシを作成し利用相談者に配布